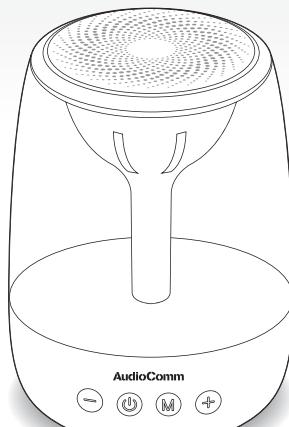


保証書付取扱説明書

Bluetoothスピーカー

型番 : ASP-W100Z 品番 : 03-0781



このたびは、AudioComm® Bluetoothスピーカーを
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくために、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。

なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
 - (二) 消耗または耗耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
- (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
- (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
- (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	Bluetoothスピーカー			★お買い上げ日 :	年	月	日
型 番	ASP-W100Z	品 番	03-0781	保証期間 :	本体1年間(お買い上げの日から)		
★お名前	ふりがな	お客様	様				
★ご住所	〒	一		電話	()	

修理メモ

★住所 店名 電話

(印)

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によつて保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にて記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきますので、ご了承ください。

◎OHM 株式会社 オーム電機

〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8

<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは

0120-963-006 048-992-2735

電話 平日9:00~17:00

受付 祝日・日曜・祝日・年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話 048-992-3970 平日 9:00~17:00

※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

受付

目次

免責事項	1
充電式電池について	1
安全上のご注意	2~4
Bluetoothについて	5~6
microSDカードについて	7
各部の名称	7
充電のしかた	8
電源の入れかた・切りかた	9
イルミネーションの設定方法	9
ペアリング(初期登録)のしかた	10~11
音楽再生に関する操作	11
TWS機能を使うときは	12~13
microSDカードの操作方法	13~14
初期化のしかた	15
お手入れのしかた	15
故障かなと思ったら	15~16
主な仕様	17
保証書とアフターサービスについて	18
保証書	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

充電式電池について

絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。

- 充電式電池(リチウムイオン電池)は、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
左図の場合は「感電注意」が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
左図の場合は「分解禁止」が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。

危険



接触禁止

充電式電池(リチウムイオン電池)が液もれたときは、素手で触らない

- 本製品には充電式電池が内蔵されています。万一、液もれているのを見つかったら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
- 液がかだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

⚠ 警告	
	<p>心臓ペースメーカーなどの医療機器を使っているときは装着部位から22cm以上離す ●電波により心臓ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。</p>
	<p>雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び充電コードに触れない ●感電するおそれがあります。</p>
	<p>万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。</p> <p>万一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。</p>
	<p>分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。</p>
	<p>本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使わない。 ●感電や故障の原因となります。</p>
	<p>火の中に入れない ●本製品には充電式電池が内蔵されており、誤って火中に入れると、発熱、破裂、発火の原因になります。</p> <p>自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない ●高温になると、危険を防止するため充電式電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。</p> <p>本機及び充電コードの上に重いものをのせない ●破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。</p> <p>充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。</p> <p>航空機内や医療機器の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。</p> <p>付属の充電コード以外では充電しない ●火災や感電、機器の故障の原因となります。</p>

⚠ 注意	
	<p>ぬれた手で操作しない ●感電の原因となることがあります。</p>
	<p>小さなお子様の手の届かないところに保管する ●思わぬ事故を招くことがあります。</p>
	<p>長時間、大音量で聴き続けない ●聴力障害などの原因となることがあります。</p>
	<p>暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない ●破損・故障の原因となります。</p>
	<p>振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない ●落下してかけをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。</p>
	<p>充電コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない ●内蔵されている磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。</p>
	<p>自動制御機器（自動ドアや火災報知器など）の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。</p>
	<p>シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない ●変形・変色の原因となります。</p>
	<p>充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグ部を持って抜いてください。</p>
	<p>日本国外では使用しない ●本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。 ●国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。</p>

Bluetoothについて

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、本機の場合、近距離（最大約10m以内）であれば、どこにいても無線通信により音楽を楽しむことができます。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。

【対応バージョン】 Bluetooth標準規格 Ver.5.0

【対応プロファイル】 · A2DP(高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル)
· AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)

●本機には電話の通話機能はありません。また、本機はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

本機の通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

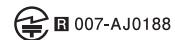
セキュリティについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本機の機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼ってある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。

本製品は日本国内でのみ使用できます。



使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

1.ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2.本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。

3.そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室(裏表紙)までお問い合わせください。

医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

●本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。

●病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えることになります。

●医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。

●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

●混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。

●医療機関内では次のことを守ってください。

・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。

・病棟内では本機を使わない。

・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。

・その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。

●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などで療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

TWS(True Wireless Stereo)機能について

●本機はTWS機能を搭載しており、本機2台をBluetooth接続することで、左右独立したステレオサウンドを楽しむことができます(TWS機能を使うには、本機を2台ご用意いただく必要があります)。

●TWS機能の操作方法については、P.12~13をご覧ください。

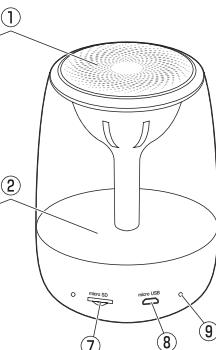
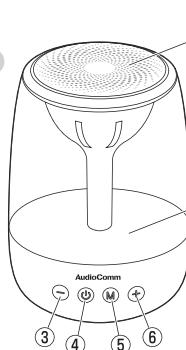
microSDカードについて

本機で使用できるmicroSDカードは最大32GBまでとなります。また、再生可能なファイルフォーマットは、MP3形式(フォーマット:FAT32)です。

- 最大65,535ファイル／65,535フォルダー(5階層まで確認済み)
- 再生するファイル容量は1ファイル当たり最大4GBまでにしてください。
- データ消失を防ぐため、ご使用前にmicroSDカード内のデータを他のメディアにバックアップしてください(弊社ではメディアの破損、データの消失などに関して一切の責任を負いません)。
- microSDカードを抜き差しするときは、必ず本機の電源を切ってください。また、装着する際は、表裏を十分確認のうえ、正しい向きで差し込んでください。無理な力を加えると、本機の接続部やmicroSDカードを破損するおそれがあります。
- 多くの階層を持つメディアは再生が始まるまでに時間がかかります。読み込みを速くするには、以下を参考にしてください。
 - ・メディア内の階層は5階層までにする
 - ・メディア内のファイル数は50,000以下にする
 - ・メディア内のフォルダーフィル数は64以下にする

各部の名称

上面／前面



①スピーカー

②イルミネーション点灯部

③音量／スキップボタン(－)

④電源／再生／一時停止ボタン

⑤モードボタン

⑥音量／スキップボタン(+)

⑦microSDカードスロット

⑧microUSBポート(充電用)

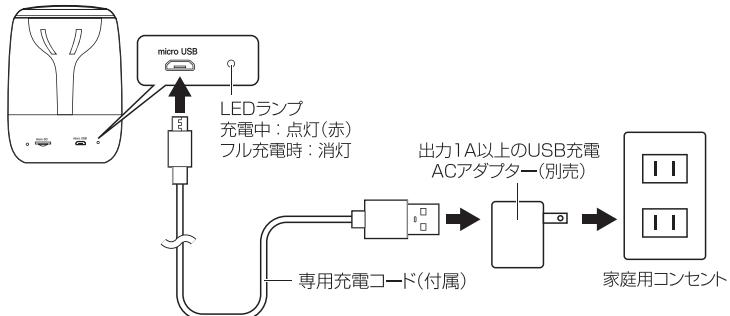
⑨LEDランプ

充電のしかた

※はじめてお使いになるときは、十分に充電してください。

専用充電コード(付属)と出力1A以上のUSB充電AC電源アダプター(別売)を使い、下図を参照して家庭用コンセントと本機を接続してください。

充電が始まるとLEDランプ(赤)が点灯し、フル充電になると消灯します。



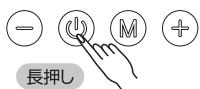
重要

付属の充電コードは本機専用です。本機を充電するときは、必ず付属の充電コードを使ってください。また、付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。機器やデータの故障、破損につながる場合があります。

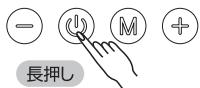
ヒントとご注意

- パソコンのUSBポートに接続した場合、パソコン側の電力供給能力不足により、充電が始まらない、または正常に充電できないことがあります。
- 十分に充電したにも関わらず、持続時間が半分程度になった場合は、内蔵されている充電式電池の寿命を考えられます。
- 許容動作環境(温度:0°C~40°C、湿度:20~80%結露なしにて)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していないくてもLEDランプが消灯することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は、弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 使用中に電池残量が少なくなると、LEDランプ(赤)が点滅し、約30秒ごとに電子音が鳴ります。その後しばらくすると電源が切れますので、速やかに充電してください。
- 長期間使わなかつたときは、電池持続時間が短くなることがあります。この場合は何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

電源の入れかた・切りかた



電源
オン



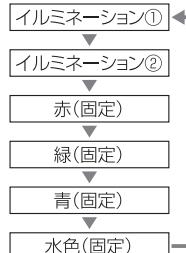
電源
オフ

ヒント ●自動電源オフ機能について：電源を入れたあと、Bluetooth接続していない状態が約10分間続くと、本機は自動的に電源が切れます(microSDカード非装着時)。

イルミネーションの設定方法

本機のイルミネーションは、以下の方法で設定を変えて楽しむことができます。

音量／スキップボタン(ー)を
2回続けて押すごとに、
イルミネーションが
下記の順番で変化します。



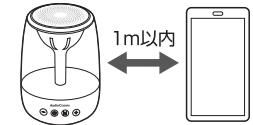
イルミネーション①…曲のリズムや強弱に合わせて変化します。
イルミネーション②…一定のスピードで色がゆっくり変化します。
※電源を切るとイルミネーションの設定はリセットされ、次に電源を入れたときは、イルミネーション①に戻ります。

ペアリング(初期登録)のしかた

ペアリングとは、本機をBluetooth機器(相手側機器：スマートフォンやBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に初期登録する操作のことです。

- はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。
- 相手側機器が他の機器とBluetooth接続しているときは、本機とのペアリングができないことがあります。事前に必ず他機との接続を解除してください。

- 1 本機と登録したい相手側機器を手元に用意します。
●相手側機器は電源が入っている状態にしてください。
- 2 本機の電源を入れます。
●電源を入れると、電子音に続いて「Bluetoothモード」の音声が流れ、ペアリングモード(接続可能な相手側機器を探している状態)になります。ペアリングモードでは、LEDランプ(青)が速く点滅します。
- SDカードモードのときは、モードボタンを押してBluetoothモードに切り換えてください。Bluetoothモードに切り換えると、自動でペアリングモードになります。



- 3 相手側機器で本機を登録してください。

Bluetooth の設定画面を開く

iPhone : [設定] → [Bluetooth]

Android : [設定] → [その他の設定] → [Bluetooth]
[設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth 設定]

NTT docomo : [アプリ] → [設定] → [Bluetooth]

SoftBank : [設定] → [端末設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth]

au : [設定] → [端末設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth 設定]

Windows Mobile : [設定] → [接続] → [Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

相手側機器で本機の名称「ASP-W100Z」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※機器によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

ペアリング(初期登録)のしかた(つづき)

本機とのペアリングが完了すると…

LEDランプ(青)の点滅が点灯に変わります。相手側機器で再生などの操作をしてください。

ヒントとご注意

- 一度ペアリングすると、相手側機器のBluetooth機能が有効なときは、本機の電源を入れるだけで、自動接続されます。ただし、接続する機器によっては自動接続しない場合があります。そのときは、以下の手順や機器付属の取扱説明書などを参照し、その都度手動で接続してください。
- ペアリングを解除するには、電源オンの状態で、電源／再生／一時停止ボタンを2回続けて押してください。
- 相手側機器と接続未完了の状態が約10分間続くと、本機の電源は自動的に切れます。
- ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは：
 - 本機の電源を切り、しばらくしてから入れ直してください。
 - 相手側機器のBluetooth設定画面を開き、本機との接続を確認してください(接続中の状態にあるときは、いったん解除した後、もう一度接続してください)。
 - 上記を試しても正常に戻らない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。

音楽再生に関する操作

Bluetoothモードでは、以下の操作が可能です。

ボタン	押す	長押し
電源／再生／一時停止ボタン	再生→一時停止	電源を切る
音量／スキップボタン(ー)	音量を下げる※1	曲の先頭に戻る。もう一度長押しすると、1つ前の曲を再生
音量／スキップボタン(+)	音量を上げる※1	次の曲を再生
モードボタン	接続解除※2 (ペアリングモードになる)	—

※再生中には、LEDランプ(青)がゆっくり点滅し、一時停止すると点灯に変わります(点灯に変わるために時間がかかることがあります)。

※1 音量調節時はボタンを連打せず、ゆっくり押してください。最小・最大音量に達すると電子音が鳴ります。

※2 microSDカード装着時はSDカードモードになり、microSDカードの再生が始まります。

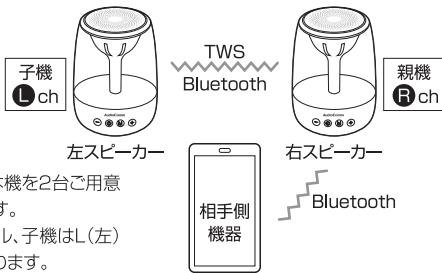
ご注意 ●本機には通話機能はありません。Bluetooth接続中のスマートフォンに着信がある場合、着信音が出力されたり、再生が中断されることはありませんのでご注意ください。

TWS機能を使うときは

TWS (True Wireless Stereo)とは、2台のスピーカー(本機)同士をBluetooth接続し、それぞれに個別の音声チャンネルを割り当てることで、左右独立したステレオサウンドを楽しむことができる機能です。

ご注意

- この機能を使うには、本機を2台ご用意いただく必要があります。
- 親機はR(右)チャンネル、子機はL(左)チャンネルの音声となります。



2台のスピーカーをペアリングする

初めてTWS機能を使うときは、2台のスピーカー同士をペアリングする必要があります。一度TWSの設定をすると、次回以降は、2台とも電源を入れれば自動で接続されます。

1 スピーカー(本機)が他の機器とBluetooth接続しているときは、接続を解除し、いったん2台とも電源を切れます。

- 相手側機器内にある本機の登録も削除してください。
- 相手側機器の電源は入っている状態にしておきます。



2 本機2台の電源を入れます。

- 電源を入れると、「Bluetoothモード」の音声が流れ、ペアリングモードになります。2台ともLEDランプ(青)が速く点滅します。



3 右スピーカー(親機)として設定したいほうのモードボタンを、約2秒間長押しします。

- しばらくすると電子音が流れ、スピーカー同士のペアリングが完了します。
- ペアリングが完了すると、子機側のLEDランプ(青)は点灯に変わり、親機側のみ青の速い点滅になります。



4 相手側機器で、改めて本機とのペアリングを行なってください。

●P.10～11を参照して操作してください。

TWS機能を使うときは(つづき)

TWS接続中のボタン操作

- 再生／一時停止、音量調節、選曲スキップは、左右どちらのスピーカーでも操作できます。
- イルミネーションは左右それぞれ個別での設定となります。

ヒントとご注意

- TWS機能はBluetoothモード時のみ有効です。SDカードモードでは機能しません。
- TWS機能を解除するには、左右いずれかのスピーカーのモードボタンを長押ししてください。解除後は、親機のみが相手側機器と接続された状態になり、子機はペアリングモードになります。この状態で子機側のモードボタンを長押すと、再びTWS機能が有効になります。
- TWS接続中に、左右いずれかのスピーカーの電源／再生／一時停止ボタンを約2秒間長押しすると、左右スピーカーの電源が両方とも切れます。
- TWS機能を使うために相手側機器に登録した内容は、親機に対して有効です。TWS解除後、親機のみを使用する場合であれば、本機(親機)の電源を入れると、自動接続されます。
- 子機のみを使用してBluetooth接続するときは、改めて子機のみで相手側機器とペアリングする必要があります。ただしこの場合、TWS接続と同じ名称「ASP-W100Z」がペアリング時の登録画面に表示されるのでご注意ください。機器によって名称変更が可能な場合は、「TWS接続用」などとあらかじめ名前を変更しておくと、分かりやすくなります。

microSDカードの操作方法

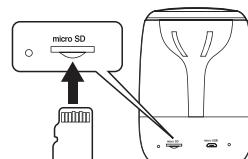
本機ではmicroSDカードに保存した音楽ファイルなどの再生ができます。データの破損などを防ぐため、microSDカード着脱時は必ず本機の電源を切ってください。

ヒントとご注意

- レジューム機能について／ microSDカードの再生では、再生を停止して電源を切った後、再度電源を入れると最後に停止した時点から再生が始まります。
- SDカードモード時は、Bluetooth接続は解除されています。また、本機には通話機能はありません。microSDカードを差し込む前にBluetooth接続していたスマートフォンに着信があっても、着信音が出力されたり、再生が中断されることはありませんのでご注意ください。

- 1 本機の電源が切れている状態で、
microSDカードをmicroSDカードスロットに
差し込みます。

- 差し込む向きに注意しながら、カチッと音がするまで
差し込み、指を離してください。



2 本機の電源を入れます。

●電源を入れると自動でSDカードモードになり、再生が始まります。

●本機では以下の操作が可能です。

ボタン	押す	長押し
(再生／一時停止)	再生→一時停止	電源を切る
(音量／スキップボタン(-))	音量を下げる※1	1つ前の曲を再生
(音量／スキップボタン(+))	音量を上げる※1	次の曲を再生
(モードボタン)	Bluetoothモードになる※2	——

※再生中は、LEDランプ(青)がゆっくり点滅し、一時停止すると点灯に変わります。

※1 音量調節時はボタンを連打せず、ゆっくり押してください。最小・最大音量に達すると電子音が鳴ります。

※2「Bluetoothモード」の音声に続いて、ペアリングモードになります。

- 3 終了するときは、電源／再生／一時停止ボタンを長押しして電源を切ります。

●microSDカードを取り出すときは、一度カードを押し込み、カチッと音がしたら指を離します。カードが少し飛び出しますので、そのまま引き抜いてください。

ヒント

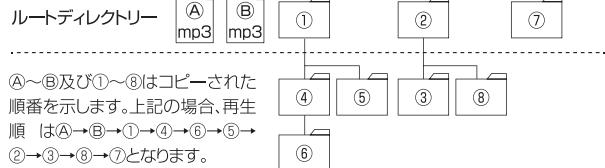
●ファイル・フォルダーの再生順について／

・microSDカード内のルートディレクトリー(トップ階層)に音楽ファイルとフォルダーが混在する場合、本機は音楽ファイルを先に再生し、次にフォルダー内の音楽ファイルを再生します。

・ルートディレクトリーに複数のフォルダーがあるときは、それらのフォルダーがmicroSDカードにコピーされた順に再生します。その場合、最初にコピーされたフォルダー内の音楽ファイルをすべて再生した後、次のフォルダーに移って再生します。

・同一フォルダー内に複数の音楽ファイルがある場合はコピーされた順に再生します。

※諸条件により異なる場合があります。



初期化のしかた

電源／再生／一時停止ボタンを約10秒間長押しすると、本機を工場出荷時の状態に初期化できます。

●電源が入っているか切れているかに関係なく初期化できます。

●長押し中に、電源が切れる(または入る)動作がありますが、そのまま約10秒間押し続けてください。



お手入れのしかた

※必ず電源を切ってから行なってください。

●本機の表面が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きしてください。

●シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

故障かなと思ったら

症状	チェック項目
電源・充電	電源が入らない <ul style="list-style-type: none"> ・十分に充電しましたか。 ・電源／再生／一時停止ボタンを長押ししましたか(短く押しただけでは電源は入りません)。
	充電できない <ul style="list-style-type: none"> ・本機とUSB充電AC電源アダプター、及び家庭用コンセントが正しく接続されていますか(端子がゆるんでいませんか)。 ・付属品ではない充電コードを使っていませんか。 ・USB充電AC電源アダプターは本機の仕様に適合したもの(出力1A以上)をお使いですか。
Bluetooth	ペアリングができない <ul style="list-style-type: none"> ・相手側機器の電源は入っていますか。 ・相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。 ・相手側機器が他の機器とBluetooth接続していませんか。 ・相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
	Bluetooth接続ができない <ul style="list-style-type: none"> ・本機及び相手側機器の電源は入っていますか。 ・相手側機器が他の機器とBluetooth接続していませんか。 ・相手側機器がスリープ状態になっていませんか。 ・相手側機器内で本機の登録が削除されていますか。

症状	チェック項目
Bluetooth	音が出ない <ul style="list-style-type: none"> ・正しくBluetooth接続されていますか。 ・相手側機器で再生などの操作を行ないませんか。 ・本機または相手側機器の音量が最小になってしまいませんか。 ・相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
	ノイズやエコー音がする <ul style="list-style-type: none"> ・相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。 ・無線通信を阻害する電磁波(電子レンジなど)や無線LAN環境の近くで使用していませんか。
	TWS接続ができない <ul style="list-style-type: none"> ・本機を2台用意しましたか(1台ではTWS機能は使えません)。 ・2つのスピーカーとも電源が入っていますか(充電しましたか)。 ・スピーカー間が離れすぎていませんか。 ・最初にモードボタンを長押しして、スピーカー間のペアリングをしましたか。 ・スピーカー間のペアリングを始める前に、いずれかのスピーカーが他の機器とBluetooth接続していませんか(他の機器との接続を解除してから、モードボタンを長押ししてください)。
	TWS接続解除後、1台のみでのBluetooth接続ができない <ul style="list-style-type: none"> ・子機として使っていたスピーカーのみでのペアリング履歴がない場合は、新規にペアリングをする必要があります。この場合、ペアリングを始めると、Bluetooth登録画面に「ASP-W100Z」が2つ表示されますが、親機用として登録済みになっていないほうの「ASP-W100Z」を選んでください。
microSDカード	microSDカードを差し込めない <ul style="list-style-type: none"> ・差し込む向きは正しいですか。 ・別のmicroSDカードがすでに差し込まれていていませんか。
	再生が始まらない <ul style="list-style-type: none"> ・Bluetoothモードになってしまいませんか。 ・本機の規格に適合したmicroSDカードを使っていますか。 ・本機の規格に適合していないファイル形式のデータが含まれていませんか。 ・microSDカードのデータが破損していませんか。
	音が出ない <ul style="list-style-type: none"> ・音量が最小になってしまいませんか。

主な仕様

●全般

電 源	DC5V 1A(USB給電：microUSB入力端子)
内 蔵 電 池	充電式リチウムイオン電池(3.7V 1000mAh)
スピーカー	口径約52mm 5W×1(4Ω)
再生周波数帯域	20～20,000Hz
実用最大出力	3.6W
接 続 端 子	microUSB(給電) microSDカードスロット
充 電 時 間	約2時間(残量ゼロからフル充電まで)
連続使用可能時間	Bluetooth：約6時間 microSDカード：約5時間(ともに音量中位時)
許容動作温度	0～40°C
許容動作湿度	20～80%(結露なしにて)
外 形 尺 法	直径85.5×高さ117mm
質 量	約285g
付 属 品	microUSB-USB専用充電コード、保証書付取扱説明書

●Bluetooth

通 信 方 式	Bluetooth標準規格 Ver.5.0
プロファイル	A2DP、AVRCP(TWS機能搭載)
出 力	Class2
最大通信距離	見通し 約10m
対応コーデック	SBC、AAC
変調方式/周波数帯域	GFSK／2.402～2.480GHz

●microSDカード

対応メディア	SDHC32GBまで
ファイル形式	MP3(再生ビットレート：16kbps)
ファイル/フォルダー	最大65,535ファイル／65,535フォルダー(5階層まで確認済み)

※充電時間、連続使用可能時間、最大通信距離はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

※本書に記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

※本書で使用しているイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。